

種智院大學 同窓會報

第2号 附録

昭和63年2月1日

京都市南区壬生通八条下る東寺町545番地
種智院大學同窓會事務局

会 員 消 息

過日、配布しました「同窓會名簿作成カード」は、11月末日現在約260通ほど返送いただきました。ここでは、同カードの近況欄に書かれておりました会員の皆様方の動静を列記することにしました。順不同、敬称を略させていただきます。また()内は卒業/修了/入学等の年次であります。

なお、今後も会員の皆様方の近況などを積極的にとりあげ、会員相互の理解を深めていくため、この欄をさらに充実させたいと考えています。

会員消息 (原文のまま掲載)

会長 森 諦圓

再度9月3日倉敷中央病院入院。小康を保ち10月10日退院帰る。

土井 格明 (大正6年)

大覚寺派長老、華道總司所最高顧問。

平尾 恵燈 (昭和2年)

老齡により視力弱。

竹中 弘明 (昭和7年)

真言宗大覚寺派責任役員。稍々老境ニ入ル。

民岡 哲雄 (昭和9年)

老骨がいつまでもでしゃばるべきでないとい惚惚たる思いにかられながら本山に出仕しております。今年7月が任期満了です。

須形 智證 (昭和10年)

鎌倉時代(中世)に当山にありました浄土式庭園即ち苑池が、このほど復元され、平横交橋が完成し、10月31日に初渡り式を行い、盛大に落慶法要を行う。当山の創建者は15代執権北条貞顕。

栗原 探乗 (昭和10年)

昭和60年12月12日 権大僧正。仁和寺會館にて開會したのに、何もなかった。学校に事務所を置き、専任の事務員を置いて出来たら良いのと思います。

杉山 哲雄 (昭和11年)

昭和12年真言宗東寺派大聖院住職に任命され、昭和53年2月辞任。境内地内に住居、別に勤務していた会社による厚生年金手当で隠居生活。

松本 安正 (昭和12年)

70才を以て各種の役職を離れ、本来の寺務に専進しています。

長谷川寛環 (昭和12年)

南淡町文化財保護委員、灘地区公民館長。小中学校教員34年勤務。

岸越 秀憲 (昭和13年)

一昨年12月に高野山奥之院維那を任期満了で退任、親友の永幡智泉君に後をお願いして下山、目下自坊の本堂屋根替工事をしております。昨年3月に高野山真言宗審査委員を拜命。

多田 隆信 (昭和13年)

昭和62年3月21日、50年間つとめた千光寺住職を退職しました。

北河原公典 (昭和14年)

昭和62年3月末にて華嚴宗管長職、東大寺別当職を引退しました。現在全日本仏教会副会長の職に在ります。

木田 寛暁 (昭和14年)

入院中でございます。

降摩 寛仁 (昭和14年)

至って元気。地区民生委員総務、社会福祉協議会長、ロータリアン。

宇喜多元洞 (昭和14年)

健康を害し、静養中。

杉村 明彦 (昭和14年)

教職関係事務に24年間在職し、昭和54年定年退職し、現在年金生活中。

福島 仁良 (昭和15年)

現在は俗界におりますが、何十幾つになっても古巣は誠になつかしく、又同窓生の皆様方の宗門での活躍に敬意を表しています。昭和6年東寺中学入学、引続き京專入学、軍隊生活終了後、昭和22年現七味家(実母の里)にて家業を継承、56年黄綬褒章受章、現在会長職にあり。

田中 正信(昭和15年)

68才ではまだ若いといつも云いきかせながら、
2つの寺の檀家参りに毎日を忙しく元気でやっ
ています。

天野 雪城(昭和15年)

奥の院を引き拝す朱夏高野
大橋を潜り世紅の秋高し
秋灯に思索の世界書の香り

藤井 真禅(昭和15年)

高野山真言宗広島支所長。

原口 良幢(昭和16年)

高野山真言宗埼玉宗務支所副長、埼玉自治布教
団長、南河原村選挙管理委員長。

東野 学明(昭和16年)

近日中に「密教事相の心得」発行。

金田修二郎(昭和18年)

一応健康ですが、近年よくカゼを引く。毎月21
日には必ず東寺参りをしています。

杉岳 覚英(昭和18年)

定年退職後、僧職をつとめる。

上品 新勝(昭和19年)

30年間の教員生活を卒業、山寺の住職におさま
って10年、霊場巡りに檀徒を引率しては自身の
信仰と修養の糧にしております。

難波 幸雄(昭和20年)

昭和59年3月1日海上自衛隊を定年退職、引き
つづき自衛隊援護協会広島支部に勤務。

満谷 義泰(昭和20年)

大阪府立高校を定年退職し、金蘭千里高校に奉
職、昭和61年12月に退職、目下自宅にて、療養
中。

飯塚 孝博(昭和20年)

事務の傍ら保護司、人権擁護委員として社会奉
仕をしています。

番場 實亮(昭和20年)

公立学校・大宮町立塩田小学校教頭、61年3月
退職、現在太田市法然寺執事。

滝川 隆勝(昭和20年)

専ら寺の仕事(祈祷・法事・掃除)に専念して
います。

池田 直鏡(昭和20年)

38年間の教職を定年で退職、現在、人権擁護委
員として市政の一端をになっております。

澤 実英(昭和22年)

昭和62年3月に定年退職、4月より近江高等学
校に常勤講師として勤務中。

木村 大廣(昭和22年)

昭和61年3月教職退職、和気町スポーツ少年団
本部長、和気郡スポーツ本部会長、和気地区保
護司。

長谷川 淳(昭和23年)

昭和23年卒業後、竜谷大学文学部哲学科へ、昭
和26年卒業、兵庫県立高等学校勤務、現在に至
っている。

高崎 照紘(昭和23年)

病床の為、出席出来得ず候也、月輪観にて祖師
を礼拝す。

吉村 八郎(昭和23年)

現在税理士として活躍しております。税金のこ
とならなんでもご相談ください。いつでも参上
いたします。

森 見章(昭和22年)

昭和59年に36年間続いた教員生活(公立小中学
校)に終止符をうち、住職として専心していま
す。尚、行政相談委員、保護司として社会奉仕
もやっています。

吉岡 宏任(昭和23年)

住職に専任、昭和55年6月専売公社退職。

藤井 周一(昭和23年)

昭和59年末に前会社(佛自交社編集部)を定
年により退職後、現在の会社へのんびり勤め
ています。

木村 弘(昭和23年)

役所を退職後、ランプ生活の廃寺再建を引き継
ぎ、造寺造仏の浄業に従事。約1.6kmの電力引
き込み、草庵の改修、仮護摩堂、地藏堂を建設
し、現在檀信徒の教化のかたわら総高約7mの
薬師仏磨崖像を自ら敬刻中である。

天野 晃玄(昭和23年)

昭和57年、公立学校教員を定年退職。

寺河 俊禎(昭和23年)

今春より宗会議員として宗団発展のため学習し
ております。

大同 徳和(昭和24年)

一昨年3月にて府立高等学校の非常勤講師を
退任しました。(書道担当、在職年数は約21年
間)近く大覚寺書道学院講師となる予定です。

山田 達圓(昭和24年)

昭和61年6月16日付で京都府職員を退職し、目
下本職に専念すべくお寺の勉強中です。

東田 敬範(昭和24年)

東寺真言宗々会議員、宇部華道学院学院長。

加藤 亮匡 (昭和24年)

本堂建立の悲願達成のため腐心中。

見城 芳行 (昭和24年)

長栄寺住職、檀務に専念。

今井 圓明 (昭和24年)

宝蔵院住職、宝塚市監査委員、宝塚市固定資産
評価委員、民事調停委員。

神野 龍幸 (昭和24年)

信徒会館改築、金剛閣落成(昭和62年7月1日)

前田 和蓮 (昭和24年)

昭和61年3月31日公立学校教職員定年退職。現
在家庭に於いて、児童、生徒、青年等の発達心
理診断教育相談をしている。真言宗の寺院で無
住職の院があれば、御世話願いたい。

久保 雅道 (昭和24年)

昭和56年4月から昭和61年3月まで奈良県磯城
郡川西町三宅町中学校組合立下中学校長、昭
和61年4月より大和高田市立高田中学校長。現
在、奈良県中学校長会副会長。

棚上 慈勝 (昭和24年)

昭和59年4月中学校教諭退職、川島簡易裁判所
民事・家事調停委員。

加門 得勇 (昭和28年)

神戸刑務所教諭、神戸市民生児童委員、神戸
市青少年育成委員。

岩田 真英 (昭和30年)

清園寺住職、高野山金剛講、両丹地方本部総
監。

手塚 節 (昭和31年)

大宮寺住職に専念。

高松 龍暉 (昭和32年)

専門調査員不在の町から依頼され、ほとんど年
中埋蔵文化財調査に従事、一般講演も年30回以
上。

辻 弘次 (昭和33年)

現在、福岡に単身赴任中である。

沖田 定信 (昭和35年)

『阿波の氏堂』を今春出版の予定です。現職と
して、宗会議員、保護司、県文化財巡視員とし
て多忙な日々を送っています。

平松 弘明 (昭和37年)

社会福祉の仕事で張り切っています。今年息子
が大学2年生で皆さんに大変お世話になってい
ます。

松尾 初子 (昭和45年)

保護司としてがんばらせて頂いております。

中山 全條 (昭和46年)

評論家・講師。

村山 隆典 (昭和48年)

福祉施設に勤務しており、園生50人と毎日楽し
く過しています。

立花 祥成 (昭和53年)

弁天宗大和本部の中で、研修学院を担当し、信
者の育成に努めております。

市来 快延 (昭和53年)

密教興隆のために、与論島に寺院建立を發願
し、目下奮闘中。

米岡 法輪 (昭和54年)

日本拳法を通して青少年の心身を鍛えることに
日々努力しております。

新見 和言 (昭和54年)

父(智章)が寺のことをおもにやり、私は観光
と料理等のことをやっております。

北尾 隆心 (昭和56年)

大正大学総合仏教研究所研究員。

泉 明憲 (昭和57年)

インド滞在中。

黒澤 幾世 (昭和57年)

昭和59年に養子をもらい、結婚し、現在2才10
か月の長女と両親と5人暮しです。

松浦 妃女 (昭和61年)

家事手伝いに専念しております。

小林 由香 (昭和61年)

現在家事手伝いをしております。

宮脇 祐志 (昭和61年)

現在、インドブッタガヤ(日本寺)に行っております。

里村 正 (昭和62年)

4月より高野山専修学院にて勉学修行中。

川村 宗紀 (昭和62年)

今年一年間は高野山専修学院に在学。

新川 健二 (昭和62年)

種智院大学聴講生。



旧校舎

住所不明会員

下記の方々の住所が不明につき、通信物が返送されてまいりました。ご存知の方は、事務局までお知らせ下さい。(敬称略・順不同)

- 大正2年
岡根 大舜 山平 利平
- 大正5年
高田 良忍
- 大正6年
徳田 忍光 小野 哲彦
- 大正12年
島田 義恭 喜多川諦道
- 大正14年
池本 智芳
- 昭和4年
高塩 光性
- 昭和7年
河本 昭澄
- 昭和8年
瀧元 隆現
- 昭和11年
難波 昌運
- 昭和12年
菅 正夫 竹内 恵運
- 昭和18年
長谷 清彦
- 昭和20年
横山 義広 武知紀三昭 小笠原英二
- 昭和22年
岸 真正 高井 実夫 英 昌賢
藤沢 宥彰 竹田 隆存
- 昭和23年
森田 義寛 宮田 親弘 坂井 俊正
- 昭和24年
阿刀 進涯 手塚震三郎 有野 瑞法
- 昭和25年
豊田 実眼 中定 三郎
- 昭和28年
足立 有教
- 昭和30年
三浦 俊紀
- 昭和38年
荻野 紳衛

- 昭和40年
三池 崇裕
- 昭和45年
三木 賢嗣 三木 宥善
- 昭和49年
耕野 淳一 加納 康永
- 昭和50年
松田 猛
- 昭和52年
川口 聖道
- 昭和56年
島野 泰道 杉浦 治 中尾 彰彦
- 昭和57年
里 笑美子 川島 勝則 池田 賢生
- 昭和60年
出倉 勝彦 渋谷 哲男 南 真喜郎
吉原 恵光

物故者

ご遺族の方から、下記の方々の訃報の連絡が寄せられましたので、ここに、物故者の欄をとくに設け、謹んで哀悼の意を表します。

なお、下記の欄は、氏名(卒業・修了・入学年次)ご逝去の年月日の順となっています。

- 田村 義基 (大正10年) 昭和63年1月6日
- 本郷 恵海 (大正14年) 昭和59年
- 津田 快洞 (昭和4年) 昭和55年12月
- 三井 隆哲 (昭和12年) 昭和61年5月29日
- 衛藤 玄弘 (昭和15年) 昭和19年7月21日
- 河本 良雅 (昭和16年) 昭和21年8月23日
- 松山 俊海 (昭和16年) 昭和52年2月26日
- 亀山 亮性 (昭和19年) 昭和58年11月14日
- 石野 海秀 (昭和20年) 昭和54年2月7日
- 三宅 太郎 (昭和23年) 昭和55年11月29日
- 白井 博之 (昭和53年) 昭和62年6月27日



睦 寮